

麻生東地区社会福祉協議会

つてなあに？

『麻生東地区社会福祉協議会』とは・・・

「地区社会福祉協議会（地区社協）」とは、暮らしの中にある地域の生活課題や福祉課題に対して、地域の『つながり』を活かしながら取り組む住民主体の組織です。

麻生区社会福祉協議会には、麻生東地区社協と柿生地区社協、2つの地区社協があります。

麻生東地区社協では多摩美、高石、千代ヶ丘、金程、向原、百合丘、東百合丘エリアを対象として小地域福祉活動を推進しております。



部会活動のご紹介

総合企画部

《主な活動内容》

- ・「お知らせ」発行
- ・広報紙「麻生東」発行
- ・会員向け研修の開催



青少年福祉部

《主な活動内容》

- ・薬物乱用防止講演会
- ・部会員研修の実施



高齢者福祉部

《主な活動内容》

- ・敬老祝品事業の実施
- ・思い出映画館の実施
- ・小学校の福祉学習支援



障害児者福祉部

《主な活動内容》

- ・バリアフリーオータムコンサートの実施
- ・部会員研修の実施



女性幼児福祉部

《主な活動内容》

- ・親子ふれあい野外活動
- ・親子ふれあい教室の実施



みんなでささえる みんなのふくし



この事業は賛助会費を活用しています。
賛助会員を募集しています。
詳しくはホームページへ
川崎市麻生区社会福祉協議会

※例年実施していた活動紹介になります。社会情勢により活動内容を変更する可能性があります。

防災に向けた役立つ情報提供

災害による被害を減らすには、日頃の備えと地域での助け合いが欠かせません。
日頃からの地域の関係づくりが大きな防災力となって、いざというときの助け合いにつながります。

高齢者部会

高齢者は足、耳、目が衰えるので、災害時に声掛けをしてもらうと助かります。
ただ、声掛けをしてもらうためにも、高齢者自身も自ら発信はしにくい現状があります。
⇒避難所で自分が高齢者と分かる名札やマークがあるとサポートしやすいです。

障害者児福祉部会

視覚障がい者 地域の災害の発生状況がわからない。単独で移動が難しい場合があります。
⇒肩や腕をつかんでもらい、周囲の状況を説明しながら半歩前を歩き誘導しましょう。

聴覚障がい者 音声情報が入らず避難が遅れることがある。見た目で障害がわかりにくいので周囲からの配慮が受けにくいことがあります。
⇒筆談やスマホでの文字入力など、目で理解できる方法でコミュニケーションを取ることが可能です。

車いすユーザー 避難できずに自宅に残っている場合があります。
⇒かけや安否確認をして、路面状況によって車いすの利用が困難な場合（背負ったり担架を使用）でも、必ず車いすも一緒に運んでください。

女性幼児福祉部

救援物資が届くまで最低3日分の子どもの生活必需品はまとめて貯蓄しておくが良いです。
⇒食糧、おむつ、お気に入りのもの、ミルクは紙パックですぐに飲めるものがあります。

おぶいひもが便利です。
⇒少し大きな子もおんぶできたり、両手があき上の子の手をつなぐことができます。

停電の時のロウソクの影に子どもが怖がる場合があります。
⇒平常時に確認しておくとう安心です。ランタンや大きめの懐中電灯があると良いです。